

<p>【イベント名】 第21回 北京協和大学との早期胃がんカンファレンス</p>	<p>【概要】 今回は7施設がカンファレンスに参加し、福岡大学筑紫病院の初参加もあり非常に光栄である。25の施設がストリーミングを視聴したという事実にとっても驚いている。早期胃がんの診断は消化器内科医師や病理医にとって極めて重要な関心事である。症例の討議は早期胃がんに対するさらなる解釈や理解のために欠かせないものである。次回のカンファレンスに期待する。</p>
<p>【期日】 2016.08.17</p>	
<p>【会場】 北京協和医院（中国）、復旦大学中山病院（中国）、天津医科大学（中国）、南方医科大学 南方医院（中国）、順天堂大学（日本）、福岡大学筑紫病院（日本）、九州大学病院（日本）</p>	



復旦大学中山病院での会場の様子。

撮影場所：九州大学病院



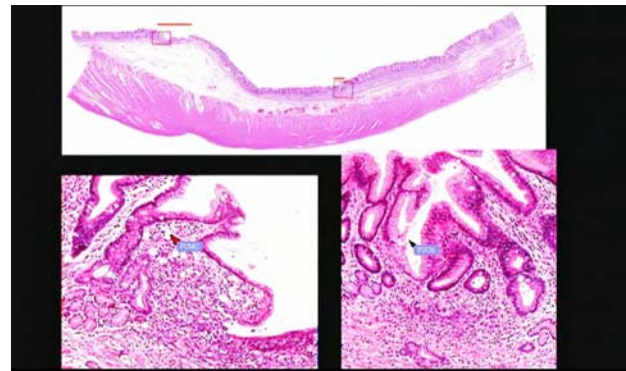
モニターに映し出される7地点。

撮影場所：九州大学病院



提示された内視鏡画像のスライド。

撮影場所：九州大学病院



提示された病理画像のスライド。

撮影場所：九州大学病院



順天堂大学での会場の様子。

撮影場所：九州大学病院



ストリーミングを受信するベトナムのドクターたち。

撮影場所：フェ中央病院